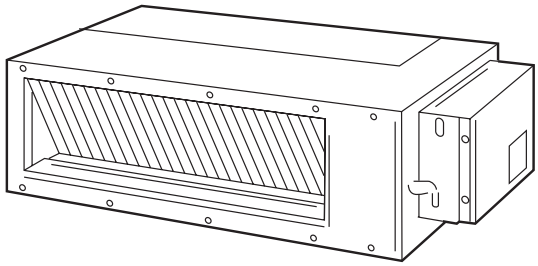
SANYO

取扱説明書
ハウジングエアコン

形 名

室内ユニット

SAH-285BV2　SAH-R285BV2
SAH-365BV2　SAH-R405BV2
SAH-405BV2



もくじ
Contents

ご使用の前に
- 安全上のご注意　1
  ご使用になる前に必ずお読みください
- 各部のなまえ　4
  応急運転　5
- 運転前の準備　6

使いかた
- 自動／暖房／ドライ／冷房運転　8
- 風向調節／風量調節　9
- 入タイマー・切タイマー　10
- ハイパワー運転／1Hタイマー運転／快眠運転　11

必要なときに
- お手入れのしかた　12
- 知っておいていただきたいこと　16
- エアコンのくわしい説明　17
- エアコンを上手に使うコツ　19
- 故障かな？　19
- 設置について　21
- 仕様　22
- 保証とアフターサービス　23

このたびは、ハウジングエアコンをお買いあげいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管し、必要なときにお役立てください。

SAVE　**省エネで　守る環境　豊かな暮らし**

HFC 対応 エアコン　**このエアコンは地球のオゾン層を破壊しない、新冷媒R410Aを採用しています。**

フロンの見える化

家庭用エアコンには最大でCO_2（温暖化ガス）3,600kg（マルチシステムの場合は10,500kg）に相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設･修理･廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

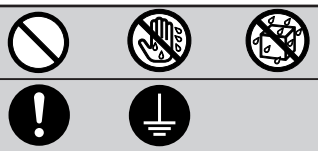
［冷媒の「見える化」表示について］
この表示は、家庭用エアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。エアコンの取りはずし時はフロン類の回収が必要です。

安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。
よくお読みいただき、必ずお守りください。
お読みになった後は「据付工事説明書」とともに、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

■ お守りいただく内容の種類を、つぎの絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

据え付け上の注意事項

⚠ 警告

ご自分で据え付けはしない
不備があると故障、水漏れや感電、火災の原因になります。
お買いあげの販売店または専門業者にご依頼ください。

新冷媒R410A以外の冷媒は絶対に使用しない
機械の故障と同時に、冷凍サイクルの破裂などの重大事故になります。

⚠ 注意

可燃性ガスの漏れる場所へは設置しない
万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発・火災の原因になることがあります。

漏電ブレーカーを取り付ける
設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。
漏電ブレーカーを取り付けていないと感電の原因になることがあります。

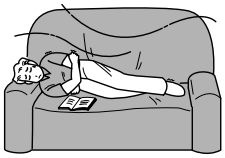
アース工事をする
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話などのアース線等に接続しないでください。
アース工事が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

ドレンホースは、確実に排水するように配管する
排水工事が不確実な場合は、屋内に浸水し家財などをぬらす原因になることがあります。

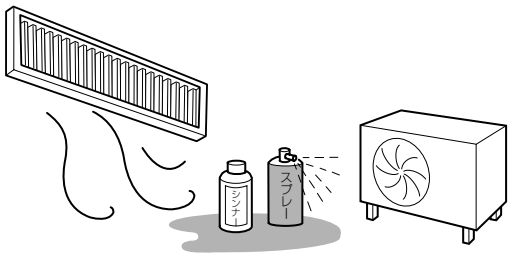
使用上の注意事項

⚠ 警告

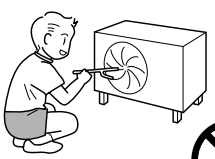
長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やしすぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。



吹出口の１m以内にスプレー缶などを置かない
温風によりスプレー缶などの圧力が上がり、爆発するおそれがあります。絶対にやめてください。



吹出口・吸込口に指や棒などを入れない
内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になります。
とくに小さなお子さまにはご注意ください。

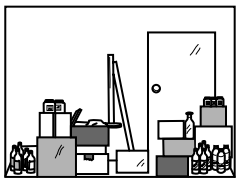


使用上の注意事項

⚠ 注意

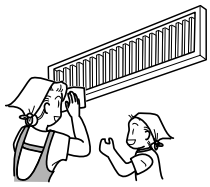
ほかの目的に使用しない

このエアコンは居室用です。精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には絶対に、使用しないでください。思わぬトラブルの原因になることがあります。



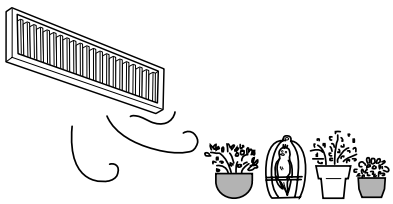
エアコンを掃除するときは運転を停止する

運転の停止を確認したあと、必ず専用ブレーカーを切ってください。内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがありますのでファン停止を確認してください。



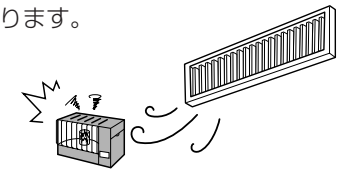
動植物には直接風を当てない

動植物に悪影響をおよぼすことがあります。



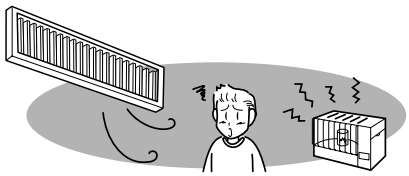
エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼による、一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。

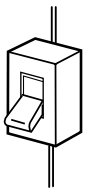


燃焼機器と一緒に運転するときは、こまめに換気をする

換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。



長期間使用しない場合、安全のため専用ブレーカーを切る

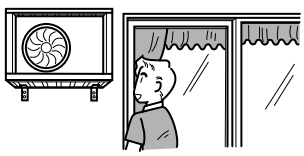


ぬれた手でスイッチを操作しない

感電の原因になることがあります。

据付台がいたんだまま放置しない

室外ユニットの落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。



安全上のご注意（つづき）

使用上の注意事項

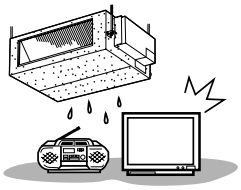
⚠ 注意

エアコンを水洗いしたり、花びんなど水の入った容器を載せない

故障･感電･火災の原因になることがあります。

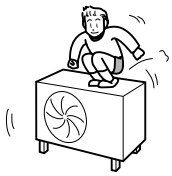
室内ユニットの下に、ほかの電気製品などを置かない

水滴が滴下することがあり、故障・感電の原因になることがあります。



ユニットに乗らない・ものを載せない

落下・転倒などにより、ケガの原因になることがあります。

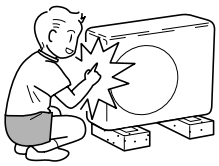


指定以外の電源を使わない

故障・火災などの原因になります。

室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない

ケガなどの原因になります。



移設・修理時の注意事項

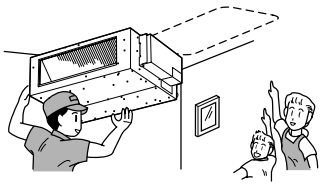
⚠ 警告

異常時（こげ臭いなど）は運転を停止して専用ブレーカーを切る

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買いあげの販売店にご相談ください。

ご自分で修理・移動・再設置・廃棄はしない

不備があると火災・感電・水漏れなどの原因になります。廃棄時も危険ですので、自分で行わないでください。



エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、お買いあげの販売店にご相談ください。

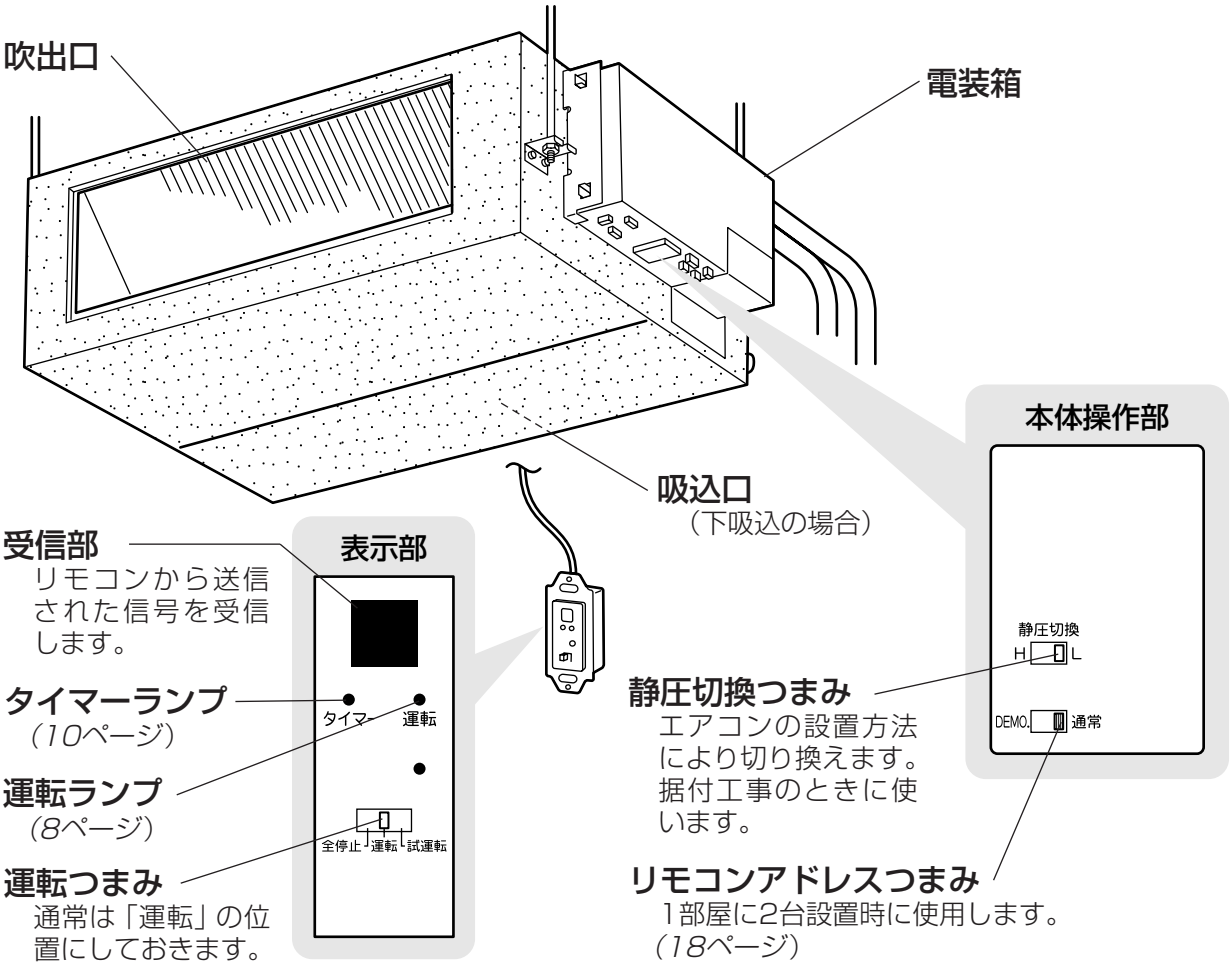
冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容をサービス技術者に確認してください。

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

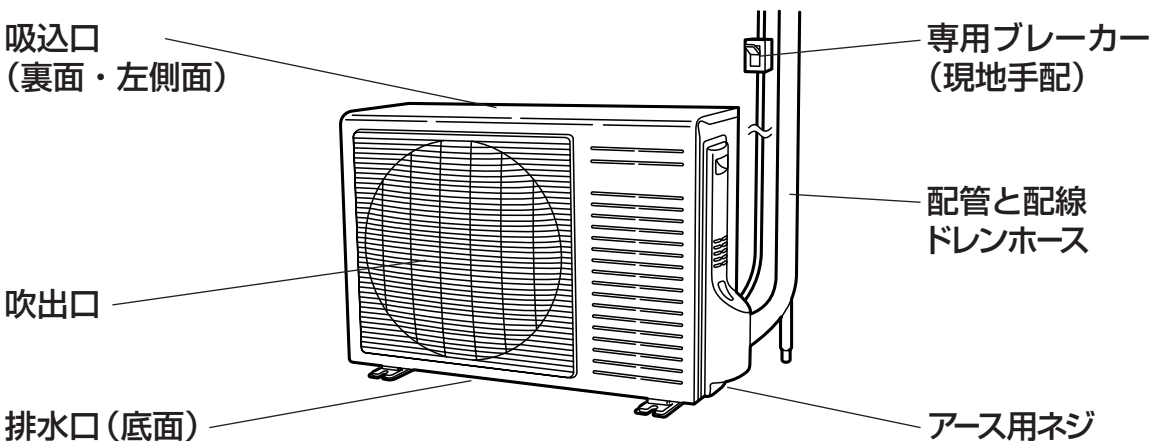
各部のなまえ

このエアコンの室内ユニットと室外ユニットの組み合わせには、シングルとマルチの2通りがあります。
- シングルとは室内ユニットと室外ユニットが各1台の組み合わせのこと
- マルチとは1台の室外ユニットと複数の室内ユニットの組み合わせのこと

室内ユニット



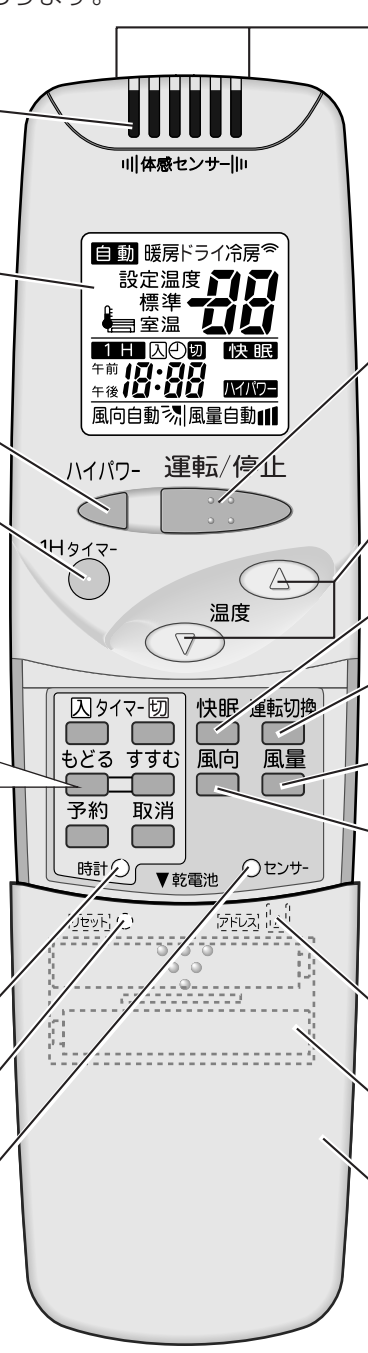
室外ユニット



各部のなまえ

リモコン

説明のため表示画面すべてを表示してあります。



送信部

体感センサー
リモコンのまわりの温度を感知します。

表示部
運転状態を表示します。

ハイパワーボタン
(11ページ)

1Hタイマーボタン
光を蓄える蓄光材を使用し、暗いお部屋で光ります。
(11ページ)

入タイマーボタン
切タイマーボタン
もどるボタン
すすむボタン
予約ボタン
取消ボタン
(10ページ)

＊ 押すときには先の細いものをお使いください。

時計ボタン
(7ページ)

リセットボタン
(6ページ)

センサーボタン
(7ページ)

運転/停止ボタン
押すと運転し、もう一度押すと停止します。

温度ボタン
(8ページ)

快眠ボタン
(11ページ)

運転切換ボタン
(8ページ)

風量ボタン
(9ページ)

風向ボタン
(9ページ)

アドレス切換
(18ページ)

乾電池収納部（内部）
(6ページ)

カバー

▼カバーをスライド

応急運転（リモコンが使えないとき）

表示部の運転つまみを一度「全停止」の位置にしてから、「運転」の位置にもどす *(6ページ)*
運転の種類は自動運転になり、**運転ランプが点灯**します。 *(8ページ)*

停止したいとき
運転つまみを「全停止」の位置にする

リモコン操作にもどすとき
運転つまみを「運転」の位置にして、リモコンで操作する

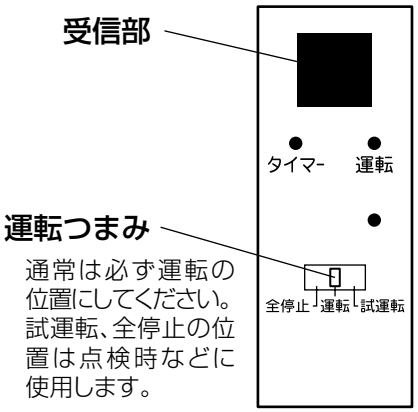
運転前の準備

室内ユニットの準備

1 吸込グリルを開けて、受信部の位置を確認する

押入上部設置、天井ダクト設置等で受信部の位置が異なります。

2 運転つまみを「運転」の位置に合わせる



3 空気清浄フィルター(ご使用の場合)を取り付ける

(取り付けかた　14,15ページ)

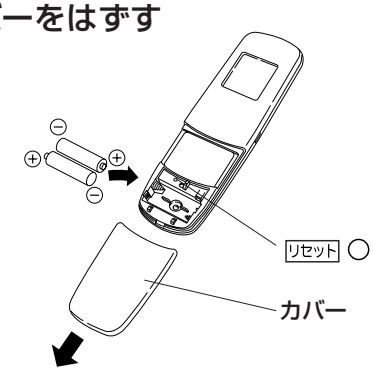
お願い

- **リモコンは、冷温風や日光が直接当たるところや、加湿器・熱源（電気カーペットやストーブなど）の近くには置かないでください。**
  また、電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けないことがあります。このような場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。
- リモコンは信号が届く位置に置いてください。位置が正しくないと、タイマー・室温制御などが正しくはたらきません。

リモコンの準備

乾電池の入れかた（単4形アルカリ乾電池2本）

1 カバーをはずす



2 乾電池を入れる

＋－の向きを正しく！

3 リセット ○ を先の細いもので必ず押してから、カバーを取り付ける

乾電池の交換時も必ずリセット ○ を押してください。

設定した内容は取り消されますので、設定をしなおしてください。

4 現在時刻を合わせる

(7ページ)

お願い

- リモコンが乾電池収納部から取付用ネジで壁などに固定されている場合は、リモコンを取りはずすことができません。乾電池の交換はそのままの状態で行ってください。

- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。
- アルカリ乾電池の交換は、１年がめやすです。
  乾電池の寿命が近づくとリモコンの表示部がうすくなったり、受信距離が短くなります。このような場合は、乾電池を新しいものと交換してください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、１年に満たないうちに消耗することがあります。
- ご使用後の乾電池は指定の場所に捨ててください。
- アルカリ乾電池以外は使用しないでください。誤作動する場合があります。

運転前の準備（つづき）

現在時刻の合わせかた

▼カバーをスライド

（例）午前10時10分に合わせる場合

（ 時計 は先の細いもので押してください。）

1 時計 を押す

時刻表示が点滅します。

2 もどる・すすむ を押し、「午前 10:10」に合わせる

時刻は１分単位で設定できます。
押し続けると10分単位で早送りになります。

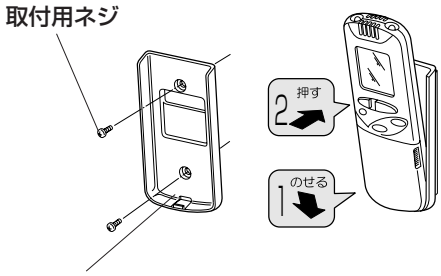
3 時計 を押す

現在時刻セット完了です。

リモコンの取り付けかた

壁などに取り付けてご使用の場合

取り付ける位置で 運転/停止 を押し、室内ユニットから“ピー”という受信音がしてエアコンが作動することを確認してから取り付けてください。



●はずすときは手前に引く。

お願い

- リモコンを手もとでご使用の場合、操作するときや運転中は、送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
- 受信部とリモコンの間に、信号をさえぎるようなものを置かないでください。

センサーボタンについて

- 体感センサーは5分に1回、リモコン周りの温度中心の室温制御をし、本体センサーは30秒に1回、本体中心にきめ細かな室温制御をします。リモコン制御で支障をきたす場合は センサー を押し、本体センサーに切り換えることをおすすめします。
  本体センサーに切り換えると、表示部に が表示されます。

自動/暖房/ドライ/冷房運転

自動運転
エアコンがそのお部屋の状況に合った運転の種類を自動的に選び、温度・風量・風向きを自動調節し、運転します。

暖房/ドライ/冷房運転
おこのみの運転内容に設定できます。また、その内容はエアコンに記憶され、次回運転の際も有効です。

1 運転の種類を選ぶ

運転切換

運転切換 を押すごとに順次運転の種類が変わっていきます。

自動 → 暖房 → ドライ → 冷房

2 運転する

運転/停止

ピー ピー

運転/停止 を押してください。

運転を停止するときは
もう一度、運転/停止 を押してください。

▼カバーをスライド

温度調節

設定温度を変えたいとき ▽ △ ピー

運転中に温度を調節する

△ 上げたいとき
温度
下げたいとき ▽

▼

押すごとに1℃ずつ変化します。

▼

自動運転

標準温度から+4℃(高め)から−4℃(低め)の範囲で変更できます。
(冷房時の上限は30℃です。)

暖房/ドライ/冷房

設定できる温度は16℃から30℃までです。

(暖房・ドライ・冷房とも共通の設定にしているため、設定幅が広くなっておりますが、設定温度によっては、外気や室温の温度条件などからエアコン内部の保護がはたらき、希望の温度にならない場合があります。)

運転停止後の作動について
- 冷房・ドライ運転停止後はエアコン内部を乾かすため、室内のファンが約30秒間運転します。(運転ランプは消灯)

メモ

自動運転時の設定標準温度

運転の種類	設定標準温度
暖　房	24℃
ドライ	運転開始の温度(20℃～26℃の範囲)
冷　房	27℃

- 外気やお部屋の条件によっては、室温が合わない場合があります。

表示部の**運転ランプ**が点灯

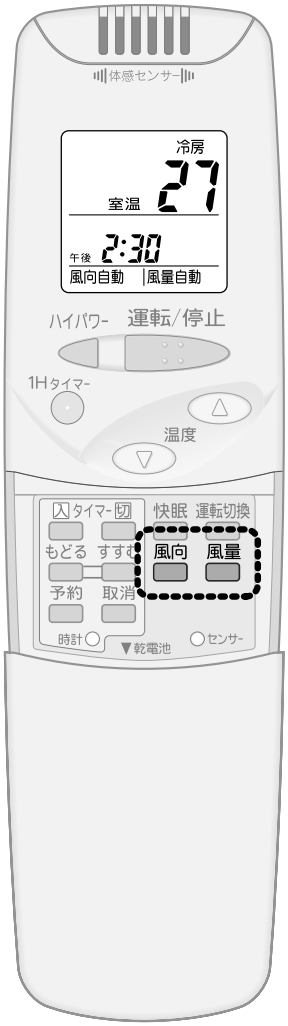
運転ランプ	暖　房	赤　色
	ドライ	橙　色
	冷　房	緑　色

- 変更温度は運転停止後も記憶されています。
- 室温制御は設定に対し、±2℃の中で安定するように制御しています。このため、リモコン表示は設定温度とずれることがあります。安定する前に±2℃の範囲を超えることもあります。
- 冷房運転は設定温度優先で運転します。
- **風向・風量を調節したいとき**
(9ページ)

くわしい説明
(17,18ページ)

風向調節／風量調節

暖気・冷気のかたよりを調節できます。



▼カバーをスライド

風向調節

横吹きの風向調節

上下の風向きを変えたいとき

ピー

風向

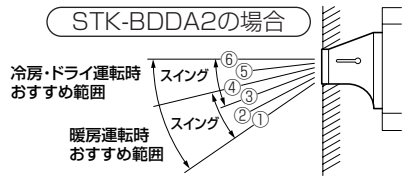
運転中に 風向 を押す

▼

押すごとにつぎのように切り換わります。

リモコン表示

STK-BDDA2の場合



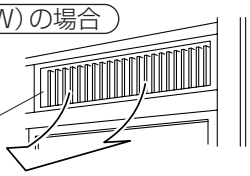
フラップ可動範囲

	可動範囲	風向自動時のフラップ位置	スイング範囲
自動運転（暖房）	①〜⑥	②	①〜④
自動運転（冷房・ドライ）	①〜⑥	⑥	③〜⑥
暖房運転	①〜⑥	②	①〜④
冷房・ドライ運転	①〜⑥	⑥	③〜⑥

左右の風向きを変えたいとき

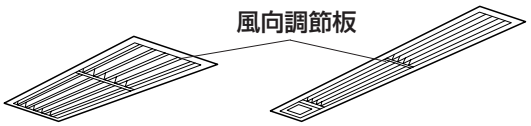
STK-BGDW3、STK-BGDW3（W）の場合

吹出グリルの風向調節板を手で動かして左右の風向きを調節します。



下吹きの風向きを変えたいとき

STK-BGD3（W）の場合　STK-BBGD（W）の場合



吹出グリルの風向調節板を手で動かして下吹き角度を調節します。

風量調節

風量を変えたいとき

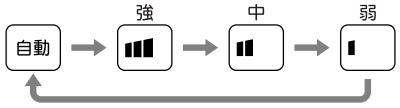
ピー

風量

運転中に 風量 を押す

▼

押すごとにつぎのように切り換わります。



- ドライ運転中の「強」「中」は、冷房の「強」「中」より風量が低くなります。

お願い

- フラップは、必ずリモコンで操作してください。手で直接操作すると、フラップがリモコンの設定位置とずれる場合があります。正常にもどすには、リモコンでいったん運転を停止させ、フラップが閉じてから再運転をしてください。（STK-BDDA2の場合）
- 冷房・ドライ運転時、梅雨どきなどの湿度の高いときにフラップを大きく曲げて使用すると吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。フラップをまっすぐの位置にしてください。

STK-BDDA2の場合

- 風向設定は前回の位置を記憶しています。
- リモコン表示はめやすですので、実際の角度とは異なります。
- 本体のフラップ位置⑥は水平よりも、若干下向きになります。
- フラップ位置は、できるだけ各運転の種類の「風向自動時のフラップ位置」でご使用ください。

- 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいている場合は、風量の変更はできません。（16ページ）
- 暖房運転時、室温が設定温度に到達すると熱交換器温度が低くなるため冷風防止機能がはたらき、おこのみの風量の変更ができないことがあります。この場合は設定温度を上げてください。
- 「自動」は風量が自動的に切り換わります。

風向・風量調節について

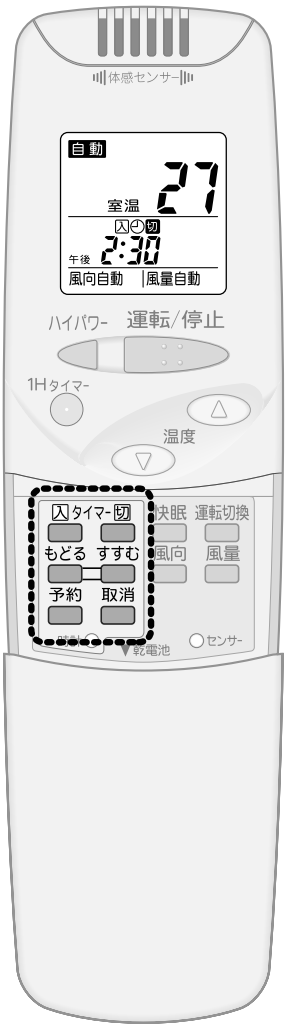
- 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいているときは、吹出温度が高くなるまでフラップ⑥の位置になります。この間はリモコンで操作しても、フラップは動きません。吹出温度が高くなると暖房運転使用範囲になります。（STK-BDDA2の場合）
- 運転切換 を押すと風向は風向自動時のフラップ位置（STK-BDDA2の場合）に、風量は自動になります。

入タイマー・切タイマー

タイマー予約をするときは、必ずリモコンの現在時刻が正しく合っていることを確認してください。

入タイマー（快適予約）
設定した時間にご希望の温度に近づけるように、自動的に運転を開始します。
（最大60分前から風量「弱」で運転します。）

切タイマー
設定した時間に運転を停止します。



▼カバーをスライド

1 タイマーを選ぶ

入タイマー 切タイマー

入 または 切 を押してください。
表示部が予約時刻表示になります。

入タイマー表示	切タイマー表示

2 予約時刻を設定する

もどる すすむ

すすむ または もどる を押し、予約時刻を設定します。
時刻は10分単位で設定できます。
押し続けると早送りになります。

3 予約する

ピー

予約

予約 を押してください。
「入」または「切」の点滅が点灯に変わり、現在時刻表示にもどります。

組み合わせタイマー・予約の変更・取り消し

入タイマー・切タイマーを組み合わせたいとき

入タイマー・切タイマーをそれぞれセットする

予約時刻を変更したいとき

上の手順を行い、時刻を変更する

予約を取り消したいとき

取消 を押す

- 入タイマーまたは切タイマーのどちらかを取り消すときは、取り消したいほうのタイマーボタンを押してから 取消 を押す。

☞
- タイマー予約は、運転中、停止中どちらでもできます。

タイマーについて

- タイマー予約は、タイマー運転後には取り消されますので、そのつどセットしなおしてください。
- タイマー予約中は、停止中でも風向・風量・設定温度の変更が可能です。入タイマー予約中に運転を停止しても、予約を取り消さない限り、設定時間になると運転を開始します。
- 切り忘れ防止として、入タイマー開始後、25時間以上リモコン操作がない場合には、運転を停止します。
- 入タイマーではお部屋の大きさや状態によって、設定時間までに設定の温度にならないことがあります。

☞
表示部の**タイマーランプ**が点灯

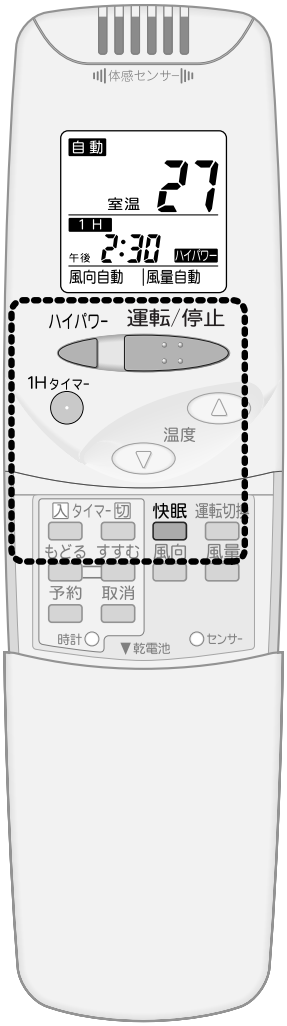
☞
- 組み合わせタイマーは現在時刻を基準にして、セット時刻が早いほうから先に作動します。
- 組み合わせタイマーは、設定された内容を毎日くり返します。

ハイパワー運転/1Hタイマー運転/快眠運転

ハイパワー運転
夏のお買い物帰りやお風呂上がりに、また冬の帰宅時などにお使いください。

1Hタイマー運転
運転中、停止中にかかわらず1時間だけ運転しますので、切り忘れがありません。

快眠運転
おやすみ中にご使用になると、通常よりもおさえた運転音と温度でコントロールをします。



▼カバーをスライド

ハイパワー運転

ピー

ハイパワー

運転中に ハイパワー を押す

▼

表示部に **ハイパワー** が表示されます。

取り消したいとき

ハイパワー をもう一度押す

ハイパワー運転について

- 現在の運転状態のパワーを上げた運転をします。
- ハイパワー運転と快眠運転は、後押し優先になります。

くわしい説明 *(17ページ)*

1Hタイマー運転

ピー ピー

1Hタイマー

1Hタイマー を押す

▼

表示部に **1H** が表示されます。

取り消したいとき

運転/停止 を押す

- 1Hタイマー運転中に 1Hタイマー を押すと、押した時点から1時間後に運転を停止します。
- 切タイマー中に 1Hタイマー を押すと、1時間後に運転を停止し、切タイマーは取り消されます。
- 1Hタイマー運転と切タイマーは、後押し優先になります。
- 入タイマー中に 1Hタイマー を押した場合では、設定時間後に入タイマーがはたらきます。

快眠運転

ピー

快眠

運転中に 快眠 を押す

▼

表示部に **快眠** が表示されます。

取り消したいとき

快眠 をもう一度押す

- 室内ユニットの表示ランプを減光します。(お部屋が明るいときは、ランプが見づらくなります。)
- 室内外ユニットの風量を自動的に下げ、運転時の送風音をおさえます。
- 設定温度を冷房・ドライ時は1時間後1℃高く、暖房時は1時間後3℃、3時間後には7℃低くします。(ドライ時、除湿能力をおさえた運転をするため、室温表示が合わない場合があります。)

お手入れのしかた

日ごろのお手入れが、エアコンを長持ちさせるヒケツです。こまめなお手入れを心がけましょう。

お手入れの前に（掃除を業者に依頼するときは、お買いあげの販売店にご相談ください。）

エアコン本体を掃除するときは停止する

- 掃除するときは必ず運転を停止にし、専用ブレーカーを切ってください。内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがあります。

エアコンは直接水洗いをしない

- エアコンを水洗いしないでください。故障・感電・火災の原因になることがあります。

不安定な踏み台などは使用しない

シンナー・ベンジン・アルコール・中性以外の洗剤・40℃以上のお湯は、使用しない

- 変形・変色の原因になります。
  室内ユニット・リモコンには、絶対に水をかけないでください。（故障や感電のおそれがあります。）

本体・リモコンのお手入れ

柔らかい布でからぶきします。

- 汚れがひどい場合は、水ぶきしてください。
  リモコンはボタン類のすきまから水などが入らないようにご注意ください。

再び使い始めるとき

- リモコンの乾電池を入れてください。
  （6ページ）
- 専用ブレーカーを入れてください。

確認してください

- エアフィルターと空気清浄フィルター（ご使用の場合）は付いているか。
- 室内・室外ユニットの吹出口や吸込口をふさいでいないか。
- アース線ははずれていないか。
- ドレンホースの先端にゴミやホコリがつまっていないか。

長期間使わないとき

- 暖房運転をして、カビが生えないよう機械内部を乾燥させます。
- エアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）の汚れ具合を点検します。
- 運転を停止し、専用ブレーカーを切ってください。
- リモコンの乾電池を取り出します。

エアコンのクリーニング依頼について

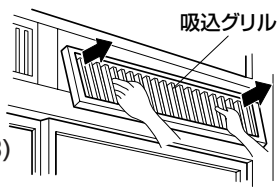
- エアコンのクリーニングについては「専門の業者」へご依頼願います。

エアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）のご使用について

- 市販のエアコン用洗浄スプレー（洗浄剤）をご使用になる場合、洗浄成分により故障の原因になることがあります。（電装部品、樹脂の割れなど）

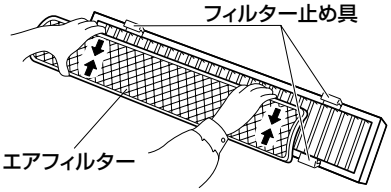
日常のお手入れ

1 吸込グリルをはずします。



(図はSTK-BGSW3)

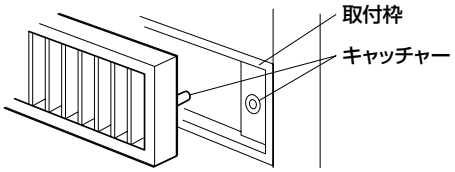
2 フィルター止め具からエアフィルターを取りはずします。



3 掃除します。

- ホコリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。（空気清浄フィルターは水洗いしないでください。）

4 エアフィルターを吸込グリルにもとのようにはめてから、取付枠と吸込グリルをキャッチャーで結合します。

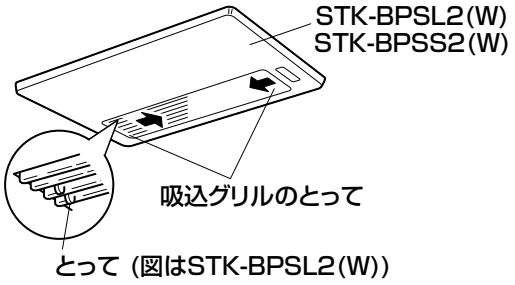


お手入れのしかた（つづき）

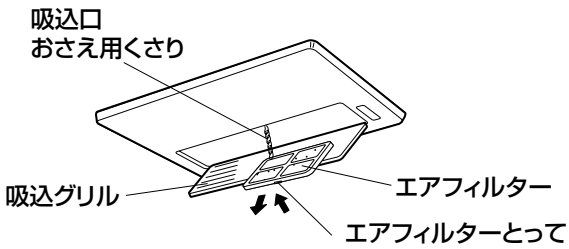
エアフィルターの掃除は2週間に1回がめやすです。

STK-BPSL2（W）、STK-BPSS2（W）の場合

1 吸込グリルのとってを内側に押すと、吸込グリルが下に開きます。



2 エアフィルターのとってを持ち上げて手前に引くと、エアフィルターがはずれます。



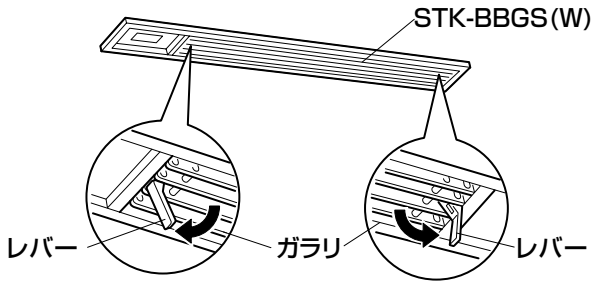
3 掃除します。

- ホコリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。（空気清浄フィルターは水洗いしないでください。）

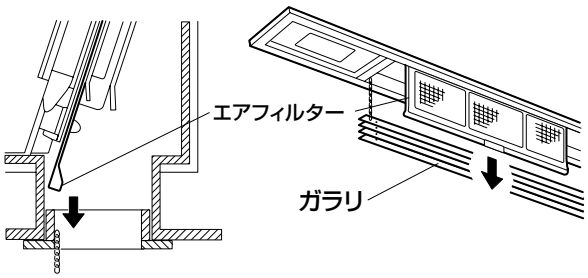
4 エアフィルターを吸込グリルに取り付けます。吸込グリルを上に閉めて、とってを外側に押して固定します。

STK-BBGS（W）の場合

1 吸込グリルの左右のレバーを引きながらガラリをはずし、ガラリを下に下げます。



2 エアフィルターを下へ引いてはずします。



3 掃除します。

- ホコリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。（空気清浄フィルターは水洗いしないでください。）

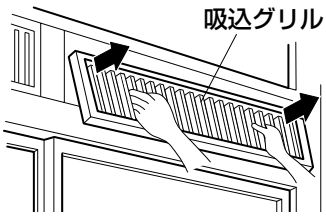
4 エアフィルターをもとのようにはめ込みます。ガラリの左右のレバーを引きながら、ガラリを取り付けます。

空気清浄フィルターの交換

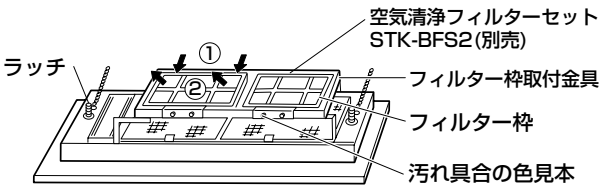
空気中のチリやホコリを取り除き、たばこの煙やにおいなどを軽減します。
ただしたばこの有害物質（一酸化炭素など）は除去できません。

空気清浄フィルターの交換のしかた
形名：STK- PF1

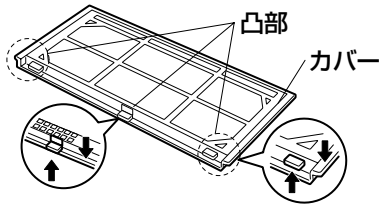
1 吸込グリルをはずします。



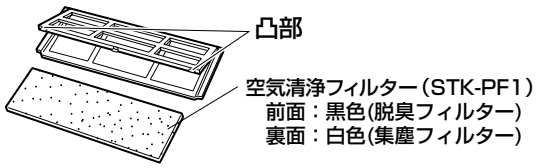
フィルター枠取付金具から、フィルター枠をはずします。
①矢印の方向に押しながら、
②フィルター枠を手前に引いてはずします。



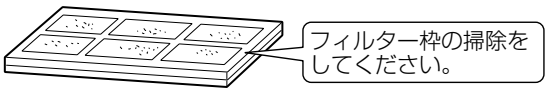
2 フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出します。



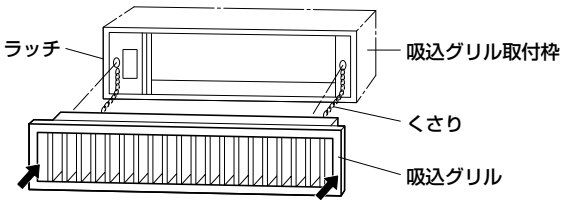
①凸部を持ち上げてフィルター枠を開きます。
②空気清浄フィルターを取り出します。
（フィルター枠は捨てないでください。）



3 新しい空気清浄フィルターをセットします。
空気清浄フィルターの黒色面を手前にして、フィルター枠に取り付けます。



4 フィルター枠をフィルター枠取付金具に取り付けます。左右のラッチを合わせて、吸込グリルを吸込グリル取付枠に差し込みます。



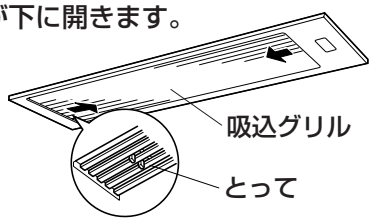
ご注意

- 空気清浄フィルターは汚れ具合の色見本のラベルと同じ程度の色になるまで使用できます。
（一般のご家庭では3～6ヵ月がめやすです。）
- 交換用の空気清浄フィルターは、お近くの販売店でお求めください。
- 使用済みの空気清浄フィルターは、燃えるゴミとして処理できますが、地方自治体によって異なりますので、ご注意ください。

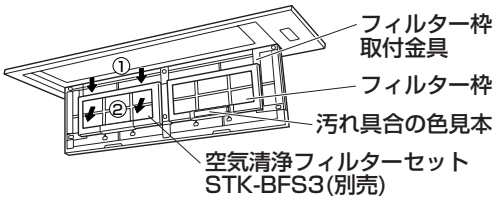
空気清浄フィルターの交換（つづき）

空気清浄フィルターの交換のしかた 形名：STK- PF1

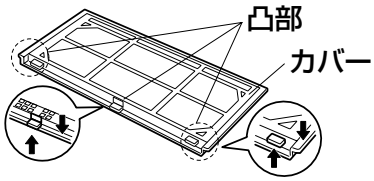
1 吸込グリルのとってを内側に押すと、吸込グリルが下に開きます。



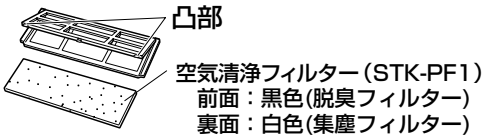
フィルター枠取付金具から、フィルター枠をはずします。
①矢印の方向に押しながら、
②フィルター枠を手前に引いてはずします。



2 フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出します。



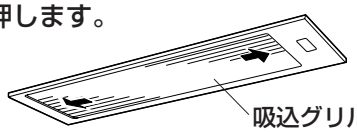
①凸部を持ち上げてフィルター枠を開きます。
②空気清浄フィルターを取り出します。
（フィルター枠は捨てないでください。）



3 新しい空気清浄フィルターをセットします。

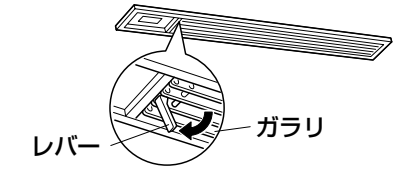
空気清浄フィルターの黒色面を手前にして、フィルター枠に取り付けます。

4 フィルター枠をフィルター枠取付金具に取り付けます。吸込グリルを閉めて、とってを外側に押します。

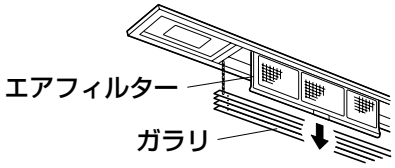


空気清浄フィルターの交換のしかた 形名：STK- F2

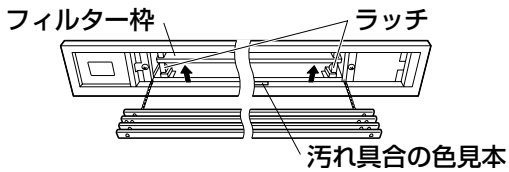
1 吸込グリルの左右のレバーを引きながらガラリをはずし、ガラリを下に下げます。



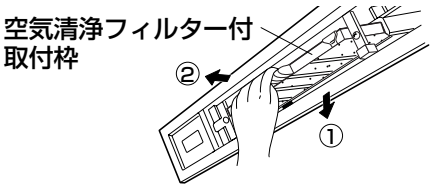
エアフィルターをはずします。



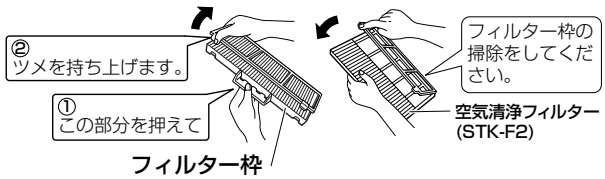
2 矢印方向にラッチをはずして、フィルター枠を倒します。



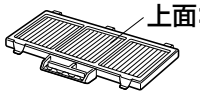
下方向に押しながら、引き抜きます。



3 空気清浄フィルター枠をはずします。



空気清浄フィルターの白色面を上にして取り付けます。



4 空気清浄フィルター枠をもとのようにはめ込みます。
エアフィルターをもとのように差し込みます。
レバーを引きながらガラリを取り付けます。

ご注意

- 空気清浄フィルターは汚れ具合の色見本のラベルと同じ程度の色になるまで使用できます。（一般のご家庭では3～6ヵ月がめやすです。）
- 交換用の空気清浄フィルターは、お近くの販売店でお求めください。
- 使用済みの空気清浄フィルターは、燃えるゴミとして処理できますが、地方自治体によって異なりますので、ご注意ください。

知っておいていただきたいこと

ヒートポンプ方式エアコンについて

- 外気の熱を室内にくみ上げて暖房する方式です。外気温度が下がるにつれ暖房能力は低下しますが、インバーターのはたらきにより、圧縮機の回転数を上げ、その能力の低下を防いでいます。急速に室温を上げる場合や寒冷地など、とくに外気温度が低い場合には、他の暖房機器との併用をおすすめします。
- お部屋全体を暖める温風循環方式ですので、暖まるまでしばらく時間がかかります。
- 冷媒はR410Aを採用しています。

運転条件

暖房時	外気の温度　約24℃以下
冷房時	外気の温度　約21℃以上　43℃以下 部屋の温度　約21℃以上　32℃以下 部屋の湿度　約80%以下
ドライ時	（シングルでお使いの場合） 外気の温度　約15℃以上　43℃以下 部屋の温度　約13℃以上　32℃以下 部屋の湿度　約80%以下 （マルチでお使いの場合） 外気の温度　約21℃以上　43℃以下 部屋の温度　約15℃以上　32℃以下 部屋の湿度　約80%以下

- 上記以外の条件で長時間運転しますと、保護装置がはたらいて運転できないことがあります。
- 梅雨どきなど湿度の高いときに運転すると、霧が吹くことがあります。この場合は設定温度を上げてください。また、長時間冷房・ドライ運転すると、エアコンの表面に露が付き、滴下することがあります。これは、エアコンの能力に対して大きさの適さないお部屋で運転した場合も同様です。このような場合はタオルなどでふいてください。
- エアフィルター、空気清浄フィルター（ご使用の場合）が汚れていると水とび、水漏れの原因になりますので、ご注意ください。

こんなときは運転を停止して専用ブレーカーを切る

- 長期間使わないとき
- 落雷のおそれがあるとき
  電気回路の焼損を防ぐためにも、雷が鳴りだしたら早めに停止し、専用ブレーカーを切ってください。
- お手入れのとき
- 故障と思われるとき

冷房・ドライ運転時のニオイカット機能について

- 冷房・ドライ運転の風量自動で運転開始時に約40秒間、室内ファンの運転を遅らせます。また、STK-BDDA2の場合フラップはスイングしません。これは、エアコンに付着したいろいろなにおいが、風とともに出てくるのを軽減するためです。

冷房・ドライ運転停止時の送風運転について

- 冷房・ドライ運転停止後、室内ユニット内部のカビの発生をおさえるため、30秒間弱風で送風運転をします。
  （運転ランプは消灯）

（STK-BDDA2の場合）

フラップはファン停止後に閉じます。

暖房時の霜取機能について

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するので、自動的に霜取機能がはたらき（約2～12分間）、運転ランプが赤色と橙色に交互に点灯し、室内ファンが止まります。
  霜取りが終了すると、再度運転を開始します。
- 霜取中に運転を停止した場合、霜取運転は継続します。霜取運転終了後、自動的に運転を停止します。

暖房時の高負荷防止について

- 温度条件や、エアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては、能力をおさえた運転や室外ユニットが停止したりすることがあるため、設定温度にならない場合があります。

暖房時の冷風防止機能について

- 運転開始時や除霜後の風量は、微風運転または停止（室温が15℃未満、かつ室内熱交温度が20℃未満）になります。
  吹出温度が高くなるにつれて、設定風量になります。
- 室温が設定温度に到達後など、室内ユニットの熱交換器温度が低くなった場合は、風量が低下したり微風運転になります。

（STK-BDDA2の場合）

- 外気温度や室温によって、フラップの動作（⑥の位置）が解除するまでの時間（最長13分後）は変化します。

暖房運転停止時の除霜について

- 運転停止後、つぎの暖房運転に備えて室外ユニットに付着している霜を取り除くため、室外ユニットが運転を続けることがあります。このとき、運転ランプは消灯します。

凍結防止機能について

- 冷房・ドライ運転時、温度条件やエアフィルター・空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまり具合によっては室内ユニット内部が凍結することがあるため、事前に能力を下げた運転をしたり、さらには室外ユニットの運転を停止させる機能です。

冷房時の湿度上昇について

- 冷房運転は室温設定を重視していますので、設定温度になると負荷の軽いときは湿度が上がる場合があります。

エアコンのくわしい説明

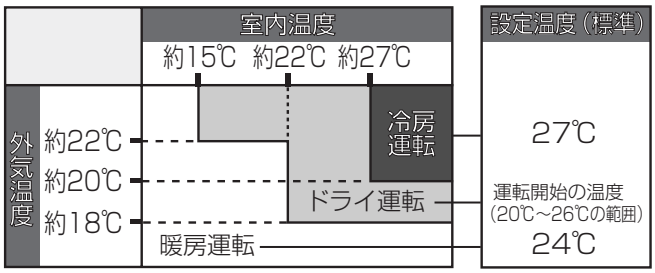
この説明書の前の部分では､運転に必要な操作手順を中心に説明しました｡それぞれの機能の､よりくわしい説明を以下に解説します。

運転切換について

- 運転中に 運転切換 を押すと､運転が3分間停止し､その後おこのみの運転を開始します。
- 風量は自動に、風向は風向自動時のフラップ位置になります。（STK-BDDA2の場合）

自動運転では

- 室内･外ユニットの温度センサーが、暖房･ドライ･冷房運転を自動的に選択します。
  （運転をいったん停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ設定の運転になります。）



- マルチでお使いの場合、他室がすでに運転している場合は、その室内ユニットと同じ運転の種類となります。

（STK-BDDA2の場合）

- 温度･風向･風量も自動的に設定されますが、風向および風量をおこのみに応じて変えることもできます。なお風量は切り換わるまでに数秒かかります。

ドライ運転では

- 室温が設定温度より高い場合は、冷房運転と同じ運転を行い、設定温度に近づいてくるとドライ運転になり、室内ファンは不規則な運転を行います。また、室外ユニットは能力をおさえた運転を継続し、さらに室温が低下すると停止します。
  室温が15℃未満では、室外ユニットが停止します。
- 外気温度が低くなったときや狭い部屋などで使用すると、設定温度よりも室温が下がる場合があります。
- 室温が設定温度より低いときでも、ユニットが運転する場合があります。

お願い

- 冷房・ドライ時にエアフィルターや空気清浄フィルター（ご使用の場合）の目づまりで露がとんだり、凍結防止機能がはたらく場合があります。この場合はエアフィルターを掃除し、空気清浄フィルター（ご使用の場合）を交換してください。

ハイパワー運転について

暖房運転時

- 15分間、通常より高めの温風で室内を暖めます。
- ハイパワー運転時には、室温分布が悪くなることがあります。
- 霜取運転中に ハイパワー を押すと、霜取運転終了後、ハイパワー運転に入ります。

（シングルでお使いの場合）

冷房運転時

- 15分間、通常より低めの冷房で室内を冷やし、風量は「最強風」になります。

ドライ運転時

- 15分間、室温が設定温度より高い場合は通常より低めの冷房で室内を冷やし、設定温度に近い場合はドライを行い、風量は「最強風」になります。

（マルチでお使いの場合）

冷房運転時・ドライ運転時

- 15分間、通常より低めの冷房で室内を冷やし、風量は「最強風」になります。

- 連続して15分間使用し、設定温度に達した場合（冷房・ドライ・暖房運転時)、その後の5分間はパワーを下げた運転を継続し、その後通常運転にもどります。
  それぞれ設定に達していないときは、すぐに通常運転にもどります。
- ハイパワー運転終了後、または途中で取り消して再度ハイパワー運転にした場合は、保護のため約5分間通常運転をした後、ハイパワー運転に入ります。
- ハイパワー運転時には、室温が設定温度と合わない場合があります。
- 霧吹き防止（シングルでお使いの場合のみ)、高負荷防止、凍結防止、コンプ温度の急上昇、電流制御、冷風防止など、商品の保護機能がはたらいているときは、ハイパワーを正しく行いません。
- ハイパワー運転時、▽ 温度 △ と 風量 で変更した内容はハイパワー運転終了後にはたらきます。

ニオイカット・停止後送風運転の作動の有無について

	風向設定	風量設定		運転開始時	停止後
				ニオイカット	送風運転
冷房･ドライ	自 動	自 動	作動の有無	○	○
			フラップの動き	風向自動の位置	送風運転後に閉じる
	手 動	自 動	作動の有無	○	○
			フラップの動き	可動範囲の位置設定	送風運転後に閉じる
暖房	自 動	自 動	作動の有無	−	−
			フラップの動き	−	閉じる

（フラップの動きはSTK-BDDA2の場合）

アドレス切換について

●弊社エアコンを2台隣接設置するときに切り換えると、リモコンの混信を防止します。通常はAにセットしていますので、アドレス切換が必要な場合は、以下の手順で行ってください。また、3台以上のときはお買いあげの販売店にご相談ください。

① リモコンのアドレス切換のツメを折ってBに切り換える。

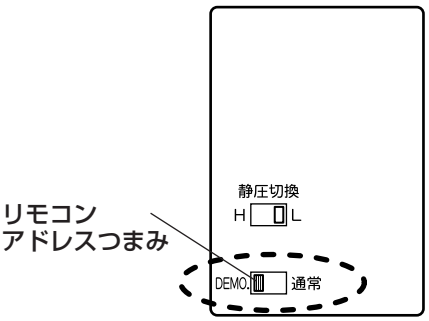
② リモコンに乾電池を入れて リセット ○を押し、カバーを付ける。

③ 吸込グリルを開け、室内ユニットの本体操作部のリモコンアドレスつまみを「DEMO.」の位置にする。

④ リモコンの 運転/停止 を押し、室内ユニットから“ピー”と受信音が出ることを確認する。

⑤ 表示部の運転つまみを「通常」の位置にして、吸込グリルを閉じる。

⑥ リモコンを操作し、室内ユニットから“ピー”と受信音が出ることを確認する。



マルチで使用されている場合

暖房運転時には

●停止している室内ユニットに冷媒がたまるのを防止するために少量の冷媒が流れます。このため冷媒音が出たり、つぎのような運転になります。

室温が希望温度に達したとき

●他の部屋が暖房運転中には、室温が希望温度に達したときでも微風暖房運転を行います。

霜取中には（暖房運転時）

●霜取装置がはたらいている間に、他の停止中の室内ユニットを運転すると霜取運転から始まります。

ハイパワー運転時には

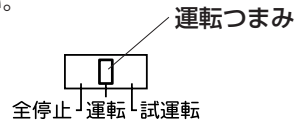
●他室運転中に1室を「ハイパワー運転」にすると、他の部屋の吹出温度も変化することがあります。

分岐ユニットを接続している場合

●分岐ユニットより弁の駆動音（ゴロゴロ音）がすることがありますが、異常音ではありません。

通常は試運転にしないでください。

●他室運転中に1室を「試運転」にすると、他の部屋も「試運転」を行います。通常は運転つまみを「試運転」の位置にしないでください。



“ピーッ、ピーッ、ピーッ、ピーッ”と音がしてエアコンが停止する場合

●つぎの運転を行った場合、“ピーッ”と4回音がして、室内ユニットが停止します。

(1) 1室を冷房（ドライ）運転、他室を暖房運転にした場合

(2) 複数の室内ユニットを運転中、運転切換 を操作した場合
（1個のリモコンで、複数台運転中に切り換えた場合も、同じ症状が発生します。）

(3) 自動運転で異なった運転の種類を選ばれた場合

●このエアコンは、1室を冷房（ドライ）運転、他室を暖房運転という、運転の種類の異なった同時運転はできません。“ピーッ”と4回音がしてエアコンが停止した場合、必ず全室内ユニットを停止にして、停止中に 運転切換 を押し、全機同じ運転の種類に設定し、再運転してください。

エアコンを上手に使うコツ

窓にはブラインドやカーテンを

夏の日差しや冬の寒さを上手に防いで、冷暖房効果をアップ。
ブラインドで約15%、カーテンでは約50%、日射量を減らすことができます。

エアフィルターはまめにお掃除を

エアフィルターが汚れると冷暖房効果が落ち、電気代が約6%ムダになります。また、異常音が発生したり、吹出口に露が付くことがあります。2週間をめやすに掃除してください。

快適な冷房（暖房）温度で効率よく省エネを

冷房時、室温と室外の温度差は約5℃以内が最適です。
設定温度を1℃上げると（暖房時は2℃下げると）約10%も電気代が節約できます。

上手に活用　タイマー運転

タイマーを上手に使えば、電気代も節約できます。

故障かな？

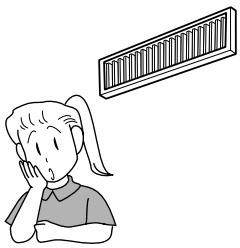
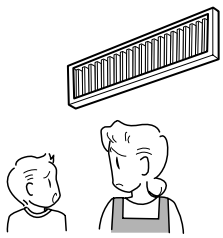
修理を依頼される前に、もう一度確かめてみてください。

これは故障ではありません。

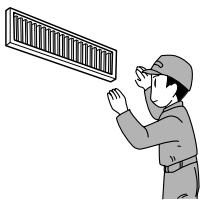
すぐに運転しない		● 電源を入れた直後や再運転時、また運転中に 運転切換 を押すと、室外ユニットは約3分間運転しません。これはエアコンの故障を防ぐためです。
すぐに停止しない		● 冷房・ドライ運転停止後にエアコン内部を乾かすため、室内ファンが約30秒間運転するためです。 ● 暖房運転停止後、室外ユニットに付着している霜を取り除くためです。
すぐに風が出ない		● 冷房・ドライ運転開始時はニオイカット機能がはたらくためです。（風量自動のとき） ● 暖房運転開始時は冷風防止機能がはたらくためです。 *（16ページ）*
音がする	**水の流れるような音**	● エアコン内部の冷媒ガスが流れる音です。 （シュー、チョロチョロ、ゴボゴボなど）
	ピシッという音	● エアコン内部のスイッチ作動音、あるいは温度変化によって樹脂部品などが伸縮するときの音です。または、暖房運転を停止したときの熱交換器からの音です。
	ブシューンという音	● 霜取装置がはたらいたとき発生する音です。
（シングルでお使いの場合）	**室外ユニットからの音**	● 運転開始時、膨張弁が作動する音です。
いやなにおいがする		● 壁やじゅうたん、家具、衣類にしみこんでいるにおいがエアコン内部に付着し、運転中に強くにおうことがありますので、定期的な点検整備をおすすめします。点検整備は販売店にご相談ください。
室外ユニットから水・湯気が出る		● 暖房時、室外ユニットに付着した水および霜取運転で発生する湯気やとけた水が出るためです。 ● 冷房時、バルブや配管が冷やされ露が付着し、滴下することがあります。
熱交換器が変色している		● 熱交換器の端が変色していますが、これは溶接によるもので、異常ではありません。

風量が切り換わらない	● ドライ運転時や暖房運転開始時、またハイパワー運転中には風量は切り換わりません。 ● 運転中に 運転切換 を押すと約3分間は微風運転となり、その後設定した風量になります。
湿度が下がらない	● 室内の温度が低い場合に、除湿量が少なくなるためです。
室温が上がらない（シングルでお使いの場合）	● ドライ運転時、室温の上昇は外気やお部屋の熱を利用しますので、外気が低いときや室内の熱量が少ないためです。 ● ドライ運転時は、室温を上げる機能はないためです。
室温が下がらない 室温が下がりすぎる（シングルでお使いの場合）	● ドライ運転時は湿度優先の運転を行うため、室外の温度条件によっては、室温が下がらないことや下がりすぎることがあります。
テレビ、ラジオなどにノイズが入る	● アースをとらないと、ノイズの原因となりますので、必ずアースをとってください。
ほかのエアコンも信号を受けてしまう	● 弊社エアコンを2台以上隣接設置するときはリモコンの混信をすることがありますので、アドレス切換を行ってください。 *（18ページ）*

こんなときは再度ご確認ください。

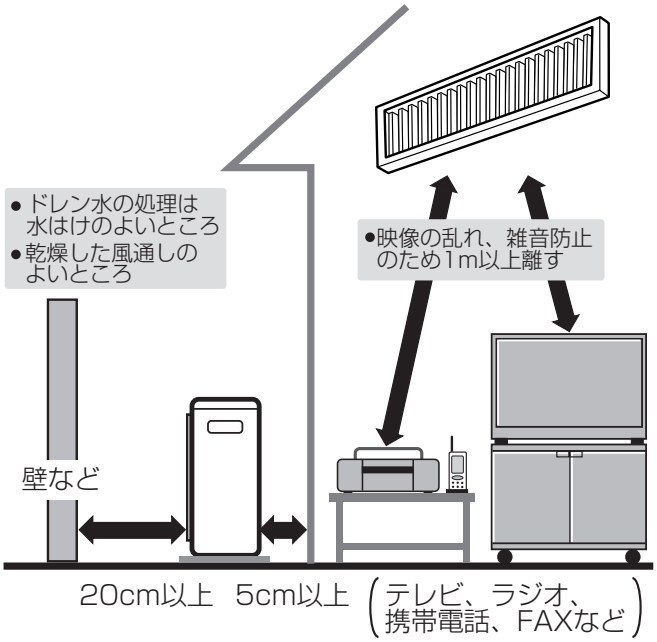
運転しない 	● 停電ではありませんか？ エアコンは停止したままです。通電後にあらためて運転操作をしなおしてください。 ● 専用ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？ ● リモコンの乾電池が切れていませんか？ ● リモコンの乾電池の＋－が逆になっていませんか？ ● 本体操作部の運転つまみが、運転以外の位置になっていませんか？
よく暖まらない よく冷えない 	● 設定温度が高かったり（冷房時）、低く（暖房時）なっていませんか？ ● リモコンの信号は届いていますか？ *（6ページ）* ● 窓や戸が開いていませんか？ ● 換気扇が回っていませんか？ ● エアフィルター、空気清浄フィルター（ご使用の場合）は汚れていませんか？ ● 室外ユニットのまわりに障害物はありませんか？

お買いあげの販売店にご連絡ください。

ただちに運転を停止し、専用ブレーカーを切ってお買いあげの販売店にご連絡ください。 	● 運転音が異常に高くなった。 ● 室内ユニットから水が漏れる。 ● 架台や吊り下げなどの取付部品が腐食したりゆるんでいる。 ● こげくさいにおいがする。 ● 専用ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。 ● 運転ランプが約0.5秒ごとに点滅している。（保護装置が作動しているため）

設置について

設置場所



こんな場所は避けてください。

- 高周波ノイズを発生する機器のあるところ
- 水や油の蒸気にさらされるところ
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
- 海浜地区など、塩分の多いところ（耐塩害仕様機種は除く）
- 温泉など、硫化ガスの発生するところ
- 吹出風が、動植物などに直接当たるところ
- 室外ユニットが水平に設置できないところ
- 天吊架台をご使用の場合、洗濯物を干すところの上
- 室内外ユニットの排水口をさまたげるところ
- 室外ユニットの吸込口が容易にさわれるところ

設置にあたっては電波障害へのご配慮を！

- 室外ユニットは、テレビ、ラジオなどから3m以上離してください。
- 電波の弱い地域において、テレビ用の増幅器を使用しているとき、まれにテレビにノイズが入ることがあります。この場合は増幅器の位置を変えてみてください。

電気工事

- **専門の技術が必要となりますので、お買いあげの販売店にご相談ください。**
- 据付工事説明書に基づいて工事をしてください。
- 電源は定格電圧で、エアコン専用の回路をご使用ください。
- 設置場所によっては、漏電ブレーカーの取り付けが必要となります。
- アース工事は必ず行ってください。とくにインバーターエアコンは、高周波による帯電やノイズを逃がすためにも、アースが必要です。アースをとらないと電気を感じることがあります。なお、他の機器のアースとは2m以上離し、併用はしないでください。

設置にあたっては騒音にもご配慮を！

- エアコンの重量にも十分耐え、騒音や振動が増大しないようなところ、室外ユニットの吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないようなところをお選びください。
- 吹出口近くにものを置くと、機能低下や騒音の原因になります。

移転について

- 転居・増築などでエアコンを取りはずしたり、再び設置する場合は、専門の技術（ポンプダウンやエアパージなど）が必要となります。移転の際には、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
- 他社のエアコンを弊社のものに変えるときは、配管・冷凍機油はそのまま使用しないでください。
  また、古い配管も使用しないでください。
- 転居の場合、50Hz・60Hz共用ですので、そのままご使用になれます。
- 新冷媒R410A用の冷凍機油はR22用とは異なります。これが少量でも混入すると、不純物を生成し冷媒回路が故障する原因となりますので、絶対に避けてください。

仕様

● 室内ユニット

形名				SAH-285BV2 SAH-R285BV2	SAH-365BV2	SAH-405BV2 SAH-R405BV2
種類				スプリット形　冷房･暖房兼用		
電源				単相200V　50/60Hz（Rなしの機種:室外ユニット電源方式）		
暖房	能力		kW	4.0（0.1～4.8）	4.8（0.1～5.8）	6.0（0.2～8.0）
	運転電流		A	0.26	0.26	0.28
	消費電力		W	50	50	55
	期間消費電力量		kWh	1,201	1,761	1,605
	運転音		dB	40	42	44
	エネルギー消費効率		−	3.43	2.96	2.96
	暖房面積の目安（m^2）	鉄筋アパート南向き洋室		18	22	27
		木造南向き和室		15	17	22
冷房	能力		kW	2.8（0.1～3.6）	3.6（0.1～3.8）	4.0（0.2～4.3）
	運転電流		A	0.35	0.35	0.38
	消費電力		W	65	65	70
	期間消費電力量		kWh	315	493	450
	運転音		dB	38	39	42
	エネルギー消費効率		−	4.48	3.43	3.70
	冷房面積の目安（m^2）	鉄筋アパート南向き洋室		19	25	28
		木造南向き和室		13	16	18
期間消費電力量　※			kWh	1,516	2,254	2,055
冷暖平均エネルギー消費効率			−	3.96	3.20	3.33
外形寸法（高さ×幅×奥行）			mm	245×750×460		
製品質量			kg	22		23
運転/停止ボタンで停止時の消費電力			W	6		8
付属品				取扱説明書（1）、保証書（1）、据付工事説明書（1）、リモコン（1）RCS-L5VA 単4形アルカリ乾電池（2）、リモコン取付具（1）、取付用ネジ（2）		
別売品				空気清浄フィルターセット　STK-BFS2　8,400円		
				STK-BFS3　8,400円		
				空気清浄フィルター（フィルターセット交換用）　STK-PF1　3,360円（2枚組×2セット）		
				空気清浄フィルター　STK-F2　3,360円（2枚組×2セット）		

- 騒音値は下がり天井設置の場合の数値です。
- 運転電流・消費電力・運転音は室内ユニットのみの値です。
- 室外ユニット仕様は、室外ユニットに付属している仕様表をご覧ください。
- 表中の数値はシングル室外機に接続した場合です。
- 表中の数値等はお断りなく変更する場合があります。
- 別売品についてはお買いあげの販売店にご相談ください。

※（社）日本冷凍空調工業会規格（JRA4046-2004：ルームエアコンディショナの期間消費電力量算出基準）に基づき、運転したときの試算値です。実際には地域、気象条件、ご使用条件などにより電力量が変わることがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

- このエアコンには保証書が付いています。
- お買いあげの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

- お買いあげの日から1年間。
- 冷媒回路部分については5年間。

補修用性能部品の保有期間

- エアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点は

- ご不明な点はお買いあげの販売店またはもよりの「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?」の項目を調べていただき、なお異常が認められる場合にはまず運転を停止し、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

- 修理すればご使用できる場合には、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

- 技術料
  故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代
  修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等が含まれています。
- 出張料
  製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お客さまメモ（お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼されるとき便利です。）

形　　名	
お買いあげ日	年　月　日
お買いあげ販売店 電　話	（　　）　－

点検整備のおすすめ

- ご使用状態によって異なりますが、エアコンを数シーズンご使用になりますと、内部の汚れなどにより能力が低下したり、においの発生・水漏れを起こす原因になることがあります。
  通常のお手入れとは別に、点検整備をおすすめします。点検整備は、お買いあげの販売店にご相談ください。なお、この場合は実費が必要となります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍に行っています。

【製造年】（室内ユニット本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

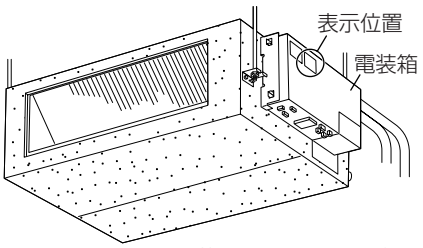
※【設計上の標準使用期間】　10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、右の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

- 設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。



※設置場所により電装箱の取付け位置が変わります。

■ 標準使用条件　日本冷凍空調工業会自主基準による

環境条件	電源電圧	製品の定格電圧による
	周波数	50および／または60Hz
	冷房室内温度	27 ℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度19 ℃）
	冷房室外温度	35℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度24℃）
	暖房室内温度	20℃（乾球温度）
	暖房室内湿度	59%（湿球温度15℃）
	暖房室外温度	7℃（乾球温度）
	暖房室外湿度	87%（湿球温度6℃）
	設置条件	製品の据付工事説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 冷房6月2日から9月21日までの112日間 暖房10月28日から4月14日までの169日間
	1日の使用時間	冷房 9時間/日、暖房 7時間/日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間/年、暖房：1,183時間/年

メモ

お客さまご相談窓口

■まずはお買いあげの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買いあげの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談 <三洋電機株式会社 お客さまセンター>

受付時間 ：（365日）9:00 ～ 18:30

総合相談窓口	050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は**大阪(06)6994-9570**へおかけください。
※郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機株式会社 お客さまセンター　〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX：大阪(06)6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日 ～ 金曜日　9:00 ～ 18:30（7月~8月）8:45 ～ 19:30
土曜･日曜･祝日･当社休日　9:00 ～ 17:30

修理相談窓口	東コールセンター (050-がご利用できない場合は、 東京03-5302-3401へおかけください)	北海道地区		050-3116-2333
		東北地区		050-3116-2444
		関東・甲信越地区		050-3116-2222
	西コールセンター (050-がご利用できない場合は、 大阪06-4250-8400へおかけください)	近畿地区		050-3116-2555
		中部・北陸地区	北陸	050-3116-2555
			中部	050-3116-2666 沼津地区は、 050-3116-2222
		中国・四国地区	中国	050-3116-2777
			四国	050-3116-2555
		九州地区		050-3116-2888
	沖縄地区			098-944-5018

(※)沖縄地区の受付時間：月曜日 ～ 土曜日　9:00 ～ 17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日～土曜日　9:00～17:30（日曜、祝日、当社休日を除く）

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っております。もよりの拠点は別紙の一覧表、もしくは弊社ホームページでご確認ください。

■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。
また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。
なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細はホームページhttp://jp.sanyo.comをご覧ください。

愛情点検　*●長年ご使用のエアコンの点検を！*

こんな症状はありませんか

- ●焦げくさいにおいがする。
- ●ブレーカーが頻繁に落ちる。
- ●運転音が異常に高くなった。
- ●エアコンに触れるとピリピリと電気を感じる。
- ●水漏れがある。
- ●架台の吊下げ等の取付部品が腐食、ゆるんでいる。

こんなときは

使用を中止してください。
故障や事故防止のため、必ず販売店に点検をご相談ください。

三洋電機株式会社
CMカンパニー　空調事業部

〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号
住所は変更することがありますのでご了承ください。

この商品は海外では使用できません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)